

広島駅南口周辺の公共空間等活用方策検討業務（3－1）

概 要 版

令和4年3月

第1章 業務概要

1.1 業務目的

広島駅南口周辺においては、広島駅南口広場の再整備等とともに、JR 広島駅ビルや広島東郵便局の建替え等の民間開発が進められており、広島の陸の玄関としての更なる発展が期待されている。こうした中で、再開発等により生み出される広場などの公共空間等を、地区の賑わいづくりに有効に活用するためには、将来的な活用・運営方法を見据えた検討を、整備段階から行う必要がある。また、広島駅南口地下広場や川の駅の既存の公共空間についても、広島駅南口広場の再整備等による動線や役割の変化を踏まえた、新たな活用方策が求められる。

こうした観点から、本業務は、広島駅南口周辺の公共空間等の現況や将来的な利用ニーズ等を把握するとともに、地区の賑わいづくりを担う地元関係者による管理・運営を前提とした公共空間等の活用方策を検討した。

1.2 業務名

広島駅南口周辺の公共空間等活用方策検討業務（3-1）

1.3 業務の履行期間

（自） 令和3年7月19日 （至） 令和4年3月11日

1.4 業務範囲

本業務では、図1.4.1に示す範囲を対象に、調査、検討等を行った。

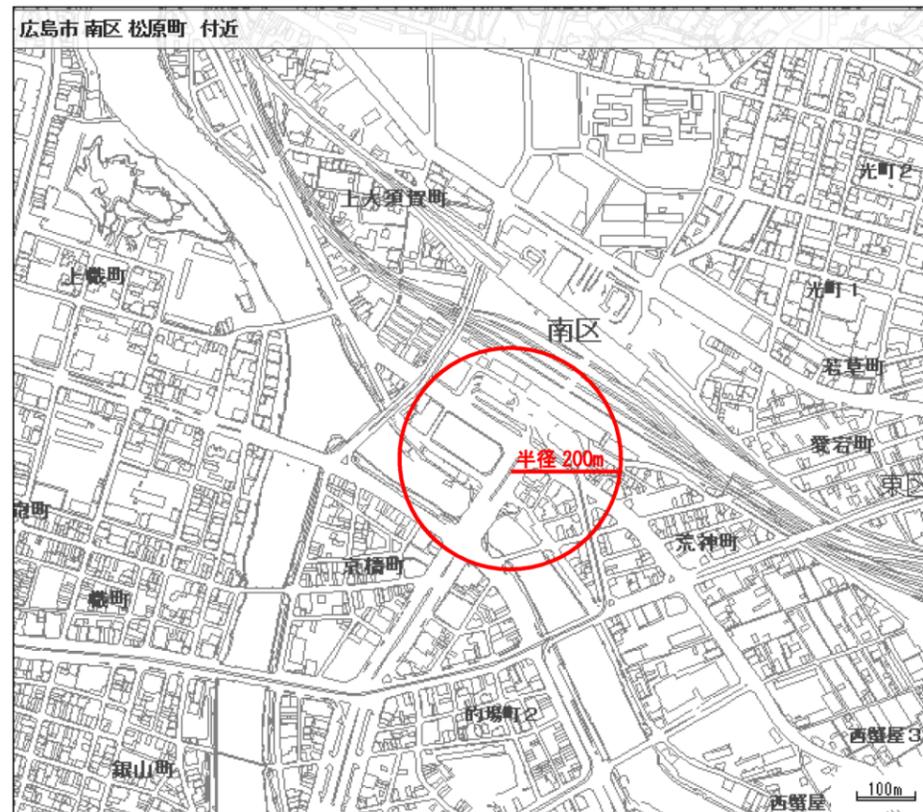


図1.4.1 調査対象範囲

1.5 業務項目

業務項目および内容は、表1.5.1に示すとおりである。

表1.5.1 業務項目

項目	内容
(1) 広島駅南口周辺における既存の公共空間の現状把握	<p>広島駅南口周辺における既存の公共空間の立地状況等を整理するとともに、公共空間における滞留者の状況について、現地調査等により把握した。</p> <p>【現地調査の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所：2か所（広島駅南口地下広場および川の駅・東部河岸緑地） ・実施時間：平日及び休日（各1日）の8時から20時（12時間）
(2) 公共空間等の利用ニーズの把握	<p>再開発等により生み出される広場などの公共空間等及び広島駅南口地下広場及び川の駅の既存の公共空間の利用ニーズを把握するためのアンケート調査について、調査内容の企画、調査票の設計、調査の実施および結果分析を行った。</p> <p>【アンケート調査の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象：広島駅の利用者等（広島広域都市圏居住者のうち「広島駅南口地下広場及び川の駅」をご存知の方） ・調査件数：400件 ・実施方法：インターネット調査
(3) 公共空間等の活用方策の検討	<p>(1)と(2)の結果を踏まえ、広島駅南口周辺における公共空間等の活用方策について、ワークショップ形式による検討を行うこととし、検討内容の企画、立案、進行及び取りまとめを行った。</p> <p>【ワークショップの進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成員：15名の地元関係者（構成員は協議の上決定） ・実施回数：4回 <p>【必須検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島駅南口周辺における公共空間等の活用に係るコンセプト ・各公共空間等における具体的な活用方策 ・活用方策に係る具体的な社会実験の手法（複数） ・活用方策の実現に必要な施設、設備等の整備内容（案） ・公共空間等の管理・運営の仕組み
(4) 公共空間等の活用方策のとりまとめ	<p>(3)の検討結果を踏まえ、広島駅南口周辺における公共空間等の活用方策を取りまとめた。</p>

1.6 業務フロー

本業務は以下のフローに沿って実施した。

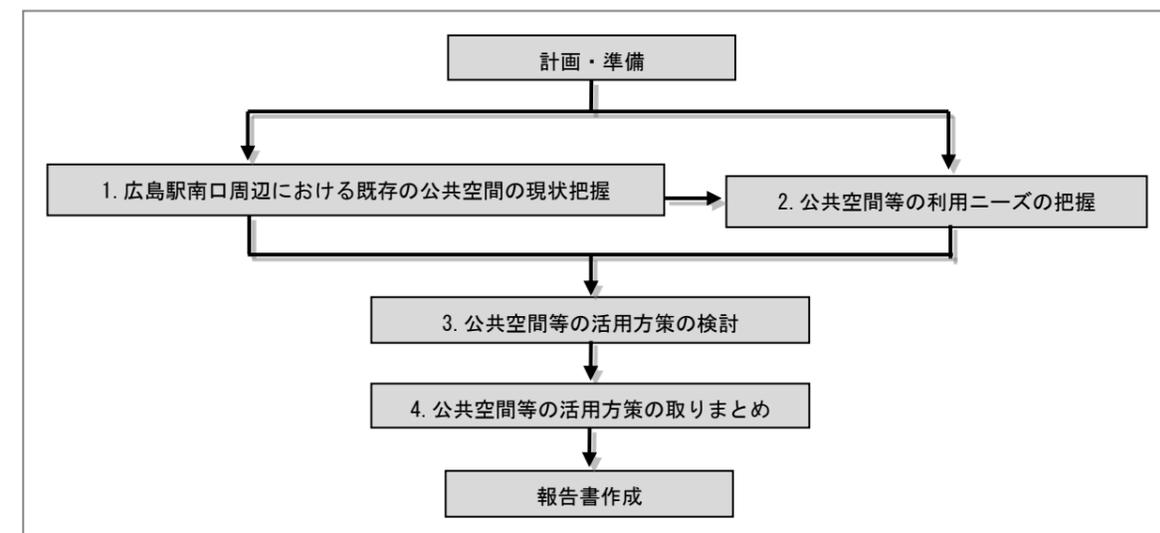


図1.6.1 業務フロー

第2章 広島駅南口周辺における既存の公的空間の現状把握

2.1 公的空間の立地状況等の整理

広島駅南口周辺における公的空間の立地状況を整理した。



図2.1.1 広島駅南口周辺における公的空間の立地状況（概略図）

2.2 現地調査の実施（滞留状況調査）

(1) 調査概要

<調査日>

- ・平日：2021年（令和3年）10月5日（火） 天候：晴れ
- ・休日：2021年（令和3年）10月2日（土） 天候：晴れ

<調査時間>

- ・8:00～20:00（12時間）

<調査内容>

調査対象エリアにおいて、滞留（通行人は除く）している人の時間帯・位置・人数・属性（性別／大人・子供）・滞留目的を、目視にて観測した。

- ① 時間別：各時間帯に1回計測※1
- ② 位置：滞留している地点を確認し、図面にプロットする。
- ③ 人数：滞留している人数を計測
- ④ 属性：滞留している人の性別・大人/子供別※2について計測
- ⑤ 滞留目的：滞留している人の目的※3を観測【表 2.2.1 参照】
- ⑥ 滞留状況撮影：調査時の状況を写真（動画を含む）撮影し、記録として保存。

※1 滞留時間は調査対象外とする。

※2 外観で調査員が判断する。

※3 複数人で滞留している場合、調査員の主観により判断する。

表2.2.1 滞留目的一覧

行動形態	滞留目的	判断基準
立つ／座る	飲食	・食物を食している ※複数で滞留している場合は過半数以上が食物を食している
	会話	・複数人で会話
	電話／通信機器操作	・【私服】スマートフォン・携帯で電話や操作、パソコン操作
	仕事	・営業活動（イベント等スタッフとして従事） ・チラシ等配布 ・【スーツ】スマートフォン・携帯で電話や操作、パソコン操作
	読書	・ベンチ等で読書
	イベント参加・見物 立寄り	・イベントに参加 ・イベントを見物（イベント用の椅子等に座っているを含む） ・イベント関連の順番待ちのために滞留
	その他 （休憩等判断が困難な状態）	・ベンチで居眠り ・休憩や待ち合わせしていると思われる状態

<調査対象エリア>



図2.2.1 調査対象エリア

(2) 調査実施の様子

滞留状況調査実施の様子を以下に示す。



図2.2.2 広島駅南口地下広場



図2.2.3 川の駅、東部河岸緑地

2.3 調査結果

調査結果を以下に示す。

(1) 平休別滞留人数

- ・地下広場（南）が平日休日ともに124名と最も多かった。
- ・平日休日別の滞留人数をみると、地下広場（南）を除き休日の方が多い。

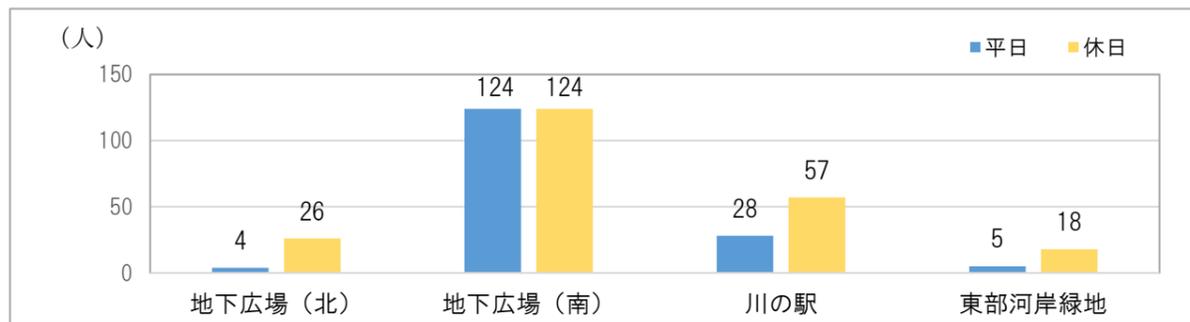


図2.3.1 滞留人数（平日休日別）

(2) 時間帯別の滞留人数

- ・平日において、地下広場（南）は10時ごろに24名と最も多かった。これは、商業施設などの開店を待ちの人が多かったためと考えられる。次いで、川の駅の18時台が7名で、仕事終わりや学校終わりに立ち寄っている人となっている。
- ・休日において、地下広場（南）は8時、14時、18時以降を除き概ね5名以上滞留していた。川の駅では17時、18時台が多い、日中の気温が高いため涼しくなる夕方に滞留する傾向となっている。

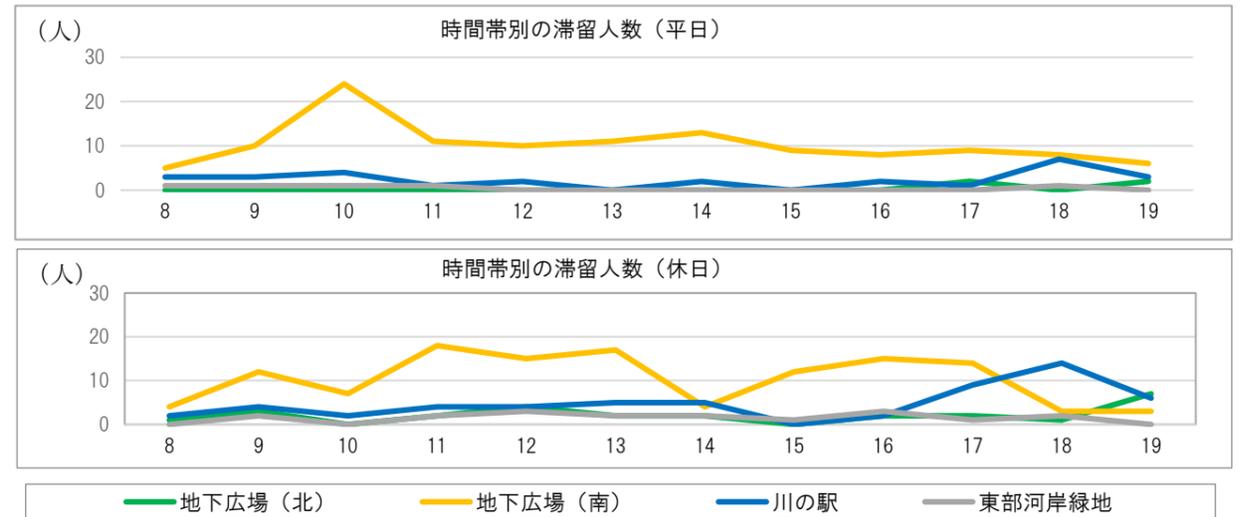
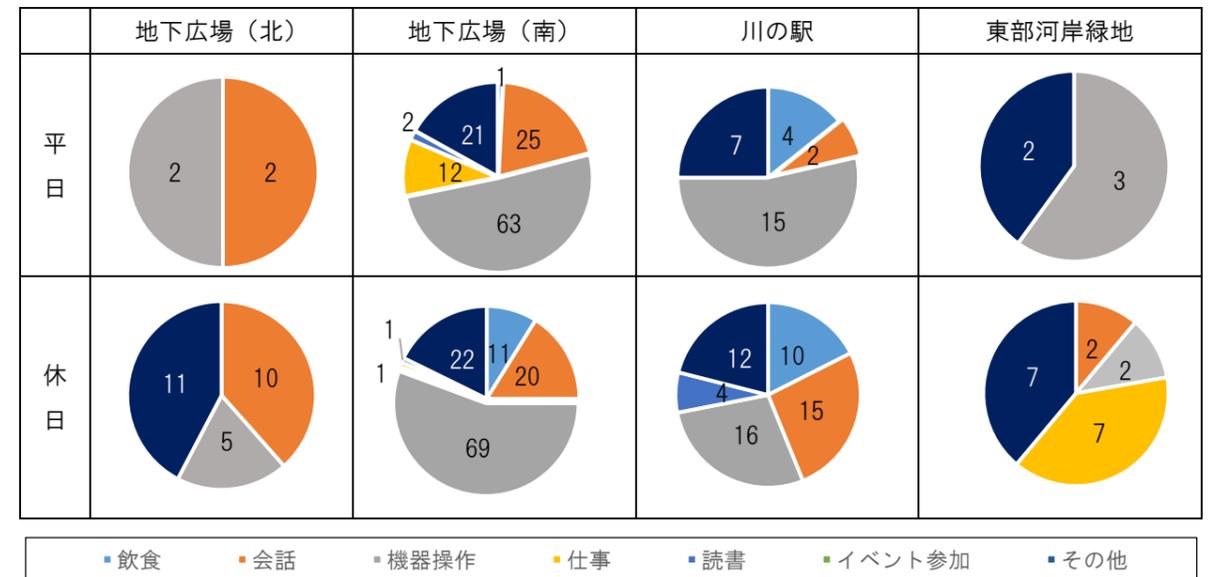


図2.3.2 時間帯別の滞留人数（平日休日別）

(3) 滞留目的別滞留人数

- ・滞留目的としては地下広場（南）と川の駅では“機器操作”が最も多い。
- ・次いで、“会話”や“飲食”となっていた。



※イベント参加は確認されなかった

図2.3.3 滞留目的の内訳（平日休日別）

第3章 公的空間等の利用ニーズの把握

3.1 アンケート調査の実施

広島駅南口地下広場や川の駅の既存の公共空間では、広島駅南口広場の再整備等による動線や役割の変化を踏まえた、新たな活用方策が求められる。広島駅南口周辺の公共空間等の現況や将来的な利用ニーズ等を把握することを目的として、“日常的に広島駅を利用している人”を対象にニーズ把握を行うためのWebアンケート調査を実施した。

3.2 調査概要

<調査方法>

- ・WEBアンケート調査

<回収サンプル数>

- ・400 サンプル程度

<属性>

- ・性別、年齢層、居住地※インターネットリサーチ会社保有データ

<スクリーニング>

- ・「南口地下広場」or「川の駅」を知っている※¹
- ・「南口地下広場」or「川の駅」を一度でも利用※²したことがある
- ・1年または2年以内の利用者

※¹「知っている」方の中でも現地を体感した方を対象として抽出するために設定
 ※²（待合せや休憩、イベント参加など、通勤通学等の通過を含む）

<設問構成>

表3.2.1 アンケート設問構成

項目	設問内容
スクリーニング	公的空間の認知状況
	公的空間の利用
	利用した時期 ※公的空間を利用した人のみ対象
利用実態	利用動向
	利用頻度
	利用目的
	イベント具体内容
	同日に立ち寄った施設はあるか
	立ち寄り施設名
	広島駅南口地下広場・川の駅を利用しない理由 他施設に立ち寄らない理由 広島駅南口地下広場・川の駅にあるとよい機能等（不足していること等）
活用方法	開催されれば立ち寄りたいイベント
	広島駅周辺を訪れる人々の回遊性を高めるため、公共空間等にあったら良いと思う施設・設備
	イベント情報発信の媒体として使って欲しいもの
	広島駅南口の公的空間等について楽しめる場として期待すること

3.3 調査結果

3.3.1 スクリーニング

① 認知度

- ・“広島駅南口地下広場”の認知度は55%を占めていた。
- ・“川の駅”の認知度は14%とかなり低かった。

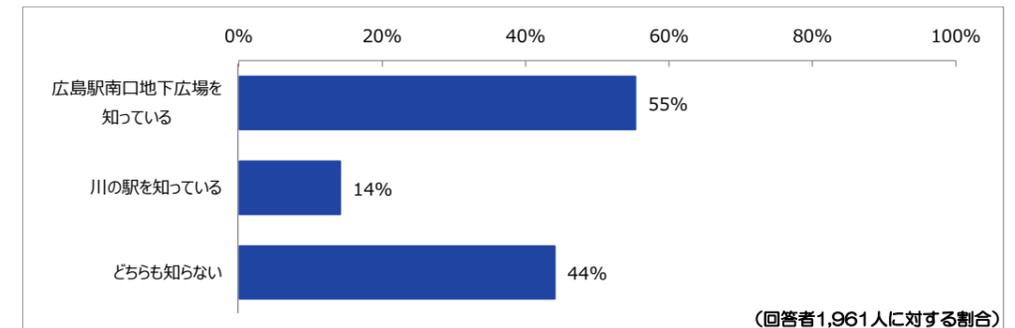


図3.3.1 認知度

3.3.2 本調査

(1) 広島駅南口地下広場と川の駅の利用実態

① 利用動向

- ・南口地下広場は“1度でも利用した”の回答が最も多く50%を占めていた。
- ・エールエールA館やBIGFRONTを利用したとの回答が35%と多かった。

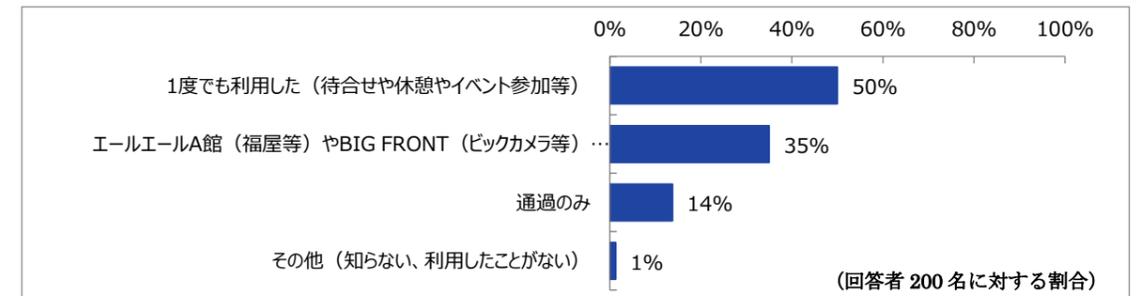


図3.3.2 利用動向（広島駅南口地下広場）

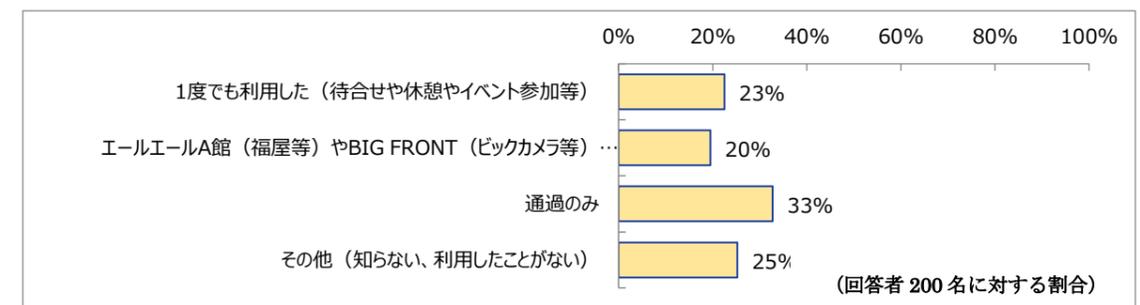


図3.3.3 利用動向（川の駅）

② 利用目的

・南口地下広場は“待ち合わせ”が63%と最も多かった。次いで“イベント参加/立ち寄り”53%を占めていた。
 ・川の駅は“散歩やサイクリング”が58%と最も多い。次いで、“待ち合わせ”48%占めていた。

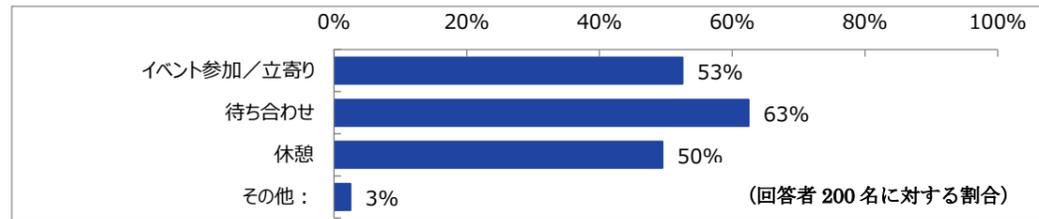


図3.3.4 利用目的（広島駅南口地下広場）

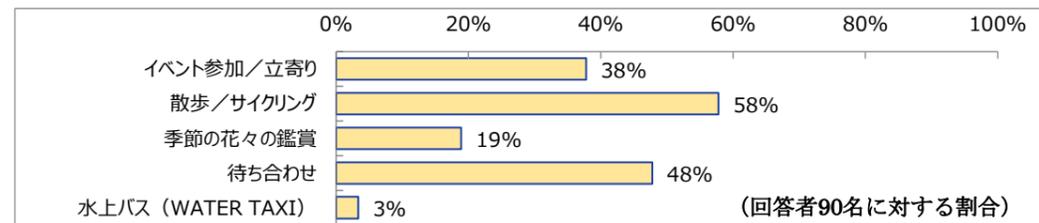


図3.3.5 利用目的（川の駅）

③ 利用しない理由

・南口地下広場は“興味のあるイベントが開催されていない”が55%と最も多かった。次いで“ベンチが少ない”“殺風景な空間でくつろげない”などくつろぎに関する回答が約30%あった。
 ・川の駅も同様に“興味のあるイベントが開催されていない”が59%と最も多かった。次いで、“近隣の地域との連携がない”42%であった。

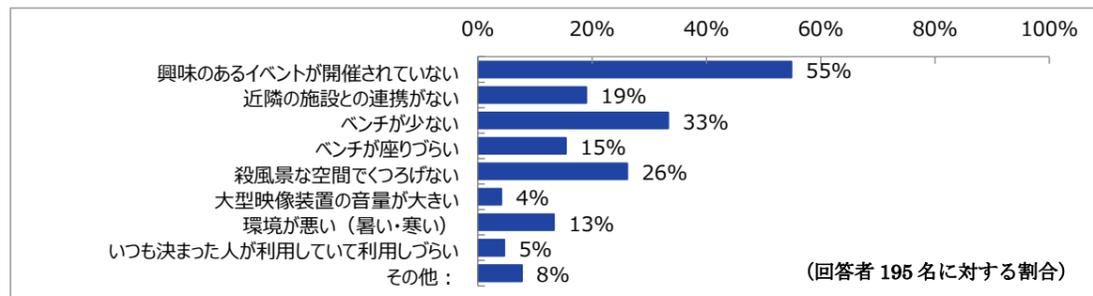


図3.3.6 利用しない理由（広島駅南口地下広場）

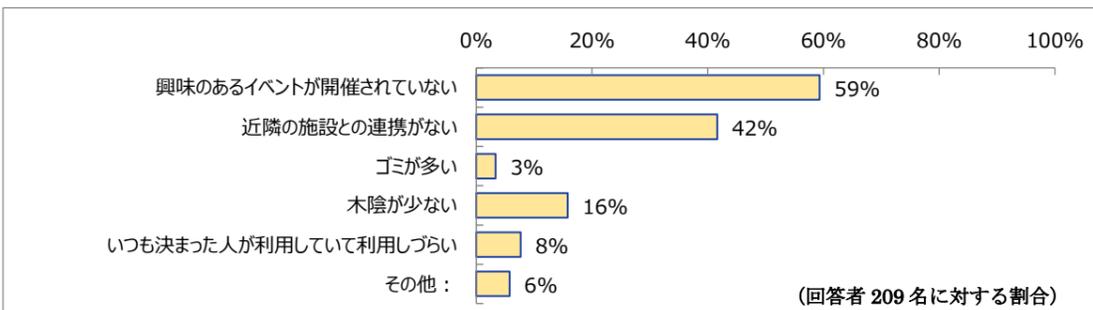


図3.3.7 利用しない理由（川の駅）

(2) 活用方法

① 広島駅周辺の回遊性を高めるため、公共空間等にあつたらよいと思う機能・設備

・“椅子・テーブル”が最も多く56%を超えていた。“Wi-Fi”“飲食店”“日除け”が30%を超えていた。
 ・より長く滞在するために必要な機能や設備を求める回答が目立っていた

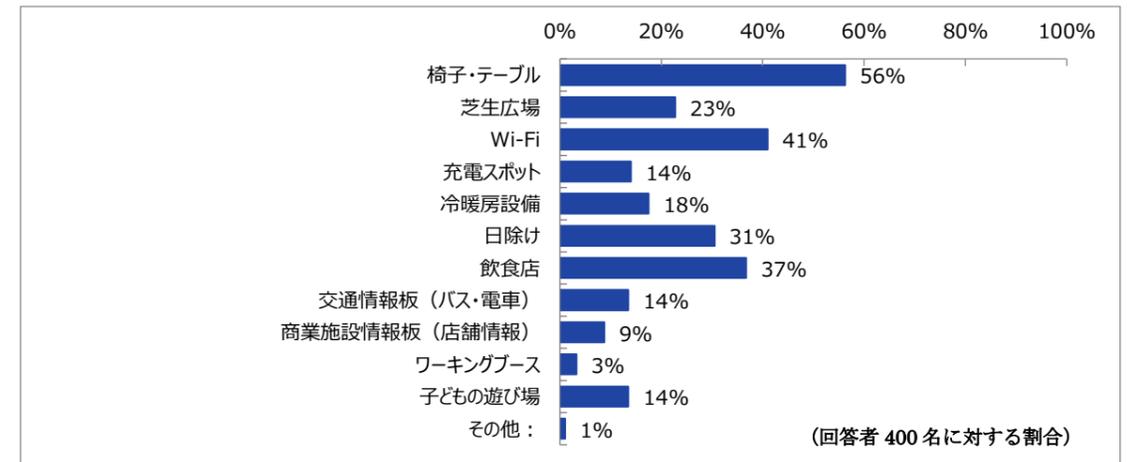
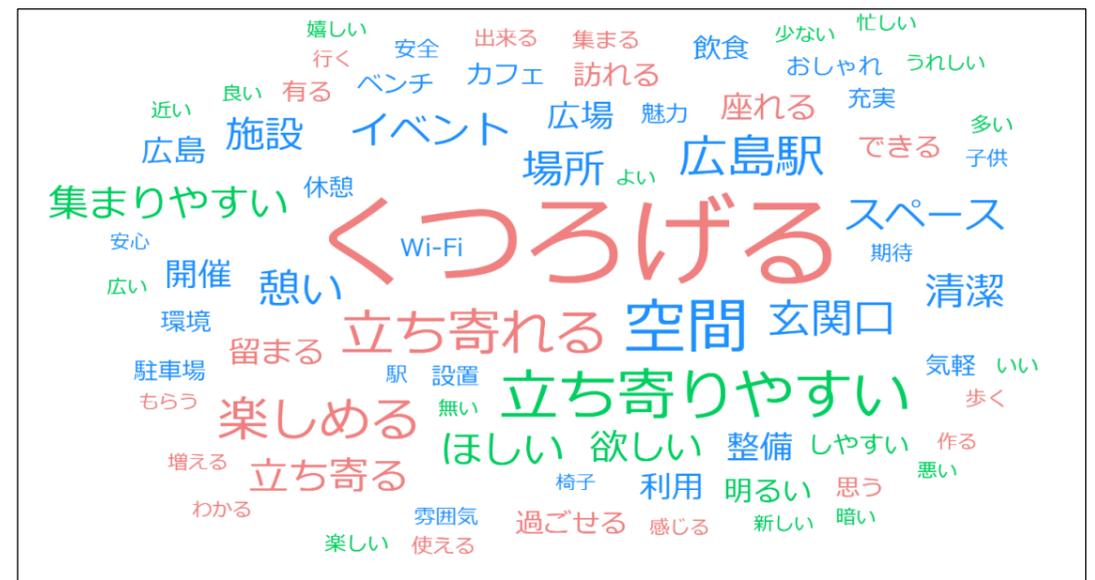


図3.3.8 広島駅周辺の回遊性を高めるため、公共空間等にあつたらよいと思う機能・設備

② テキストマイニングによる自由意見の整理

・テキストマイニングにより自由意見を整理すると、「くつろげる」「立ち寄りやすい」を含むコメントが多く見られた。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

図3.3.9 テキストマイニング（スコア順）

※「スコア」とは、単語の重要度を示す値

第4章 公共空間等の活用方策

4.1 ワークショップの開催目的

広島駅南口周辺の公共空間等の現況を整理に加え、ワークショップの実施により将来的な利用ニーズ等を把握するとともに、地区のにぎわいづくりを担う地元関係者による管理・運営を前提とした公共空間等の活用方策を検討した。

4.2 ワークショップの概要

(1) 開催趣旨

- ・広島駅周辺で活動し、にぎわいづくりに関心が高い若い世代の方が参加し、広島駅南口周辺の将来について議論する。
- ・それぞれの公共空間等をどのような空間にしていきたいか（コンセプト）議論しながら、短期的（令和4年度～令和9年度[再整備完了予定]）な取組（社会実験）を考える。
- ・多くの方に広島駅南口周辺を回遊してもらうために、それぞれの公共空間等の連携方法、必要な設備、管理・運営方法など、長期的（20～30年後）な視点に立った運用を考える。
- ・参加者には、令和4年度以降も引き続き、社会実験などを通じて、広島市が進める「楕円形の都市づくり」の「東の核」である広島駅周辺のにぎわいづくりに携わってもらいたい。

(2) 進め方

- ・公共空間等の滞留状況調査及び活用方法等に関するアンケート調査の結果を踏まえ、資料等により他都市の事例を学習しながら、広島駅南口周辺地区における公共空間の活用方策について意見交換を行う。
- ・意見交換は、4～5人の3つのグループに分かれて実施し、グループ毎に発表する形式で進め、取りまとめる。

(3) 検討項目

- ① 広島駅南口周辺における公共空間等の活用に係るコンセプト
- ② 各公共空間等における具体的な活用方策
- ③ 活用方策に係る具体的な社会実験の手法（複数）
- ④ 活用方策の実現に必要な施設、設備等の整備内容（案）
- ⑤ 公共空間等の管理・運営の仕組み

(4) 開催スケジュール

第1～3回ワークショップは対面形式で開催し、回第4回ワークショップは新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、班ごとにWEB形式で開催した。

表4.2.1 ワークショップ開催スケジュール

回	開催日時	概略内容	形式
1	令和3年10月19日（火） 10:00～12:00	・ガイダンス、自己紹介 ・レクチャー【事例紹介】 ・グループワーク【既存の公共空間に対する意見】	対面
2	令和3年11月2日（火） 14:00～16:00	・第1回のおさらい ・レクチャー【滞留状況調査、Webアンケート結果】 ・グループワーク【コンセプト、活用方策】	対面
3	令和3年12月21日（火） 14:00～17:00	・第2回のおさらい ・レクチャー【滞留状況調査、Webアンケート結果】 ・グループワーク【コンセプト、活用方策】	対面
4	令和4年2月18日（金） 14:00～16:00	・第1～3回までの取りまとめの確認 ・意見聴取【議論が不足している箇所、財源確保】	WEB

(5) 参加者名簿

ワークショップは下記の15名で実施した。

表4.2.2 ワークショップ参加者一覧（敬称略）

班	氏名	勤め先
A	後藤 康仁	広島駅南口開発株式会社
	中木 淳	広島テレビ放送株式会社
	前地 拓	西日本旅客鉄道株式会社 広島支社 地域共生室
	松原 功馬	広島県地域政策局都市圏魅力づくり推進課
	水田 慎也	株式会社福屋 福屋広島駅前店
B	熊澤 智広	日本郵政株式会社 中四国施設センター
	川述 恭平	広島市企画総務局企画調整部政策企画課（前所属 広島市南区地域おこし推進課）
	金井 れもん	公益財団法人中国地域創造研究センター
	溪口 雅弘	広島駅南口開発株式会社
C	麓 美奈	一般社団法人広島県観光連盟
	本多 伸也	ひろぎんエリアデザイン(株)
	野澤 功平	公益財団法人中国地域創造研究センター
	前田 琢己	広島電鉄株式会社
	大西 伶奈	中国 SC 開発株式会社
	豊田 千絵美	株式会社福屋 福屋広島駅前店

4.3 ワークショップの開催まとめ

第1～4回のワークショップのまとめおよび開催状況について下記に示す。

(1) 第1回ワークショップ

A班 (メンバー: 水田さん、後藤さん、中木さん、熊澤さん、川述さん、野澤さん)

- 『**日常的な通過点**』となっているイメージがある。
- 周辺には専門学校があるので10代や20代の方が通過したり、百貨店は50代以上の方が利用したり、近くのマンションには子育て世代の方が住んでいたり、今後オフィスが建設されてビジネスマンが来たりなど、非常に多様な年代の方がここには集まってくる。
- このような場所は、イベント等がある『**目的地となる場所**』であったり、普段の生活の中で、『**サードプレイス (第3の場所)**』というようなイメージで、皆さんの中に自然に溶け込んでいくような場所になったらいいのではないかと。
- また、北口や川とのつながりなど、南口だけでなく『**周辺と複合的に繋がっていく**』ことで盛り上がっていく場所になると思う。

〇色々な意見が出ました!

- (広島駅南口周辺のイメージ)
- 南口は買い物のイメージはない
 - 駐車場が無い
 - 日常として使わない
 - 通過点になっている
 - 昔は開市場
 - 川の駅は知名度が低い
 - 地下広場は人がとても多い
 - 東部河津緑地はベンチが少ない
 - 百貨店は50代以上の人の利用が多い
 - 子育て世代は、南口周辺はあまり利用しない(車の方が楽)
 - 10代20代の学生の通過利用もみられる

- (広島駅南口周辺で何ができるか)
- 主婦は14時15時、ビジネスマンは
 - 地下広場はイベントを試行錯誤して集客
 - アフター
 - 近くのマ
 - オクトー
 - 川の駅でイ
 - 連が主に
 - イベントを
 - イベントを
 - 何か拠点
 - 百貨店の
 - スイーツ
 - 場で限定
 - 社会実験
 - 下広場で
 - 広島市民
 - り、野球
 - りと変わ
 - 戻るとこ

B班 (メンバー: 金井さん、豊田さん、前田さん、漢口さん、前地さん、松原さん、大西さん)

- 南口周辺には『**目的がない**』、『**目的があってもそこにしか行かない**』イメージ。
- 『**全体最適 (広島市や広島都心部全体としてどうあるべきか)**』と『**部分最適 (広島駅南口周辺としてどうあるべきか)**』を考えたほうがいいのか。
- 全体最適に関しては、川でつながることによって他の拠点と行き来できる。また、コミュニティごとのイベントもある。『**多方面のイベント等と連携し、同時に仕掛けていく**』のもいいのではないかと。
- 部分最適に関しては、メインターゲットは駅を利用する人なので、『**非常に開放的とか明るさが大事**』だが、現在は川に出るまではそういうのは一切感じられない。
- 今後、JRの屋上庭園やペDESTリアンデッキ、郵政の公開空地ができる中で、『**地下広場の最大の強みは全天候型であるため、日常的に使える空間**』にしたらいいのではないかと。

〇色々な意見が出ました!

- (広島駅南口周辺のイメージ)
- 昔から買い物
 - 学生多い
 - 座るところない
 - 目的や用事がなく来ない
 - 普段通らない
 - 休日川を散歩、雰囲気いい、広島らしい
 - 他の目的複合的になるといい
 - 目的を決めて動く、他の楽しみがあるといい
 - 交通の結節点であり、イベントやっている印象はない
 - 目的がディープな印象
 - 川の駅のモニュメントができたことが知らない人が多い
 - 1日過ごせる八丁堀、紙屋町で降りてしまう
 - 人は集まるが、賑わいじゃない
 - 知らない人は「川の駅？」となる

- (広島駅南口周辺で何ができるか)
- ここだけでイベントでなく、各地のコミュニティとつながった同時開催
 - サテライトとして考える。ここに来ると理由
 - 八丁堀、紙屋町とのつながりの中でやるべきでは
 - 川をきっかけに原爆ドームともつながっている
 - 部分最適と全体最適、ここだけでなく都心全体、橋本都市としてどうあるべきか?
 - イルミネーション、オクトーパフェスト等は他との連携をイメージしやすい
 - ターゲットを絞らない
 - 先週末川の駅の音楽イベントに行った。ビール飲みながら音楽を楽しんだ
 - 緑や開放的に。地下の狭い・暗いイメージ変える
 - 地下広場利用はイベントだけでは長い目で見ると続かないのでは
 - 地下広場は場所がわかりづらい

- 駅利用者へ開放感・明るさを
- 屋上庭園、デッキもできる一地下広場ならではのワクワク感、ダンジョン、差別化
- 地下は全天候型が強み、日常使い、その中でイベントはあるかも
- タリーズを持ってくるくらいでもいい
- 五感で呼ぶ、やらせ感のない、お祭り・屋台
- 地下広場一わざわざここに来る、地下公園のような使い方
- 広場一休憩する場所
- ディープも面白い、裏なんぼ・梅田裏通り、キレイと使い分け
- マツダスタジアム一引き込む
- エリアに住む人どこで買い物? どう動いてもらう?
- EKI CITY HIROSHIMAは南向きに店一スタジアムからこちらに誘導できないか

(ワークショップの様子)



図4.3.1 第1回ワークショップ (まとめ、開催状況)

(2) 第2回ワークショップ

A班 (メンバー: 後藤さん、中木さん、前地さん、松原さん)

- 全体コンセプトは『**えっと もっと 好きになる広島ー五感でつながる広島駅南口**』。『**えっと もっと 好きになる広島**』は、地元の人より広島が好きになる、外から来た人は『**平和**』や『**カーブ**』、『**お好み焼き**』以外の広島の良さが分かるイメージ。『**五感でつながる広島駅南口**』は、目で見る、耳で聴く、においを嗅ぐ、ものを食べる、体験できる。全部が味わえるようなイメージ。
- このエリアには多様な人が訪れるため、ターゲットを絞らずに、様々なことができるとなるような場所になると思う (何をしても正解となるような場所である)。
- 「川の駅・東部河津緑地」は、『**食(味覚・嗅覚)と音楽(聴覚)のエリア**』。いい匂いがして、食べながら音楽も楽しめる場所のイメージ。
- 「南口地下広場」は、『**アート・展示(視覚)やカフェで休憩するエリア**』。アートに関しては、『**創作(触覚)を取り入れて体験型にするのも良い**』。地上エリアと比べて、落ち着ける場所・休める場所の提供をする。セミのイメージ (地下で英気を養い、地上に羽ばたいていくようなイメージ)。
- 「郵政の公開空地」は、オフィスビルでもあるため、『**昼はビジネス、夜は駅西から帰る人に対する機能があれば良い**』と思う。
- 「JR広島新駅ビル」は、広島の特徴の一つである『**スポーツの発信・体験(触覚)のエリア**』。また、各エリアのイベント情報やライブ中継等、『**どこで行われているのかが分かる“回遊性の補完”機能があと良い**』と思う。
- 「ペDESTリアンデッキ」は、駅から川の駅へ向かう動線となるため、『**川の駅への期待感。ワクワク感を醸成できる機能があると良い**』と思う。例えば、川の駅でやっているイベントのライブ映像をデジタルサイネージでの発信や、店舗をいくつか置いて川の駅に行くにつれてワクワク感を高める。

〇色々な意見が出ました!

- (各エリア: 地下広場)
- えっと もっと 好きになる広島
 - 五感でつながる広島駅南口
 - わきあがるイメージ
 - いいところを体験する場所
 - 広島の人は広島が好き、広島にこだわるスペースがいい
 - 広島らしさ、地元の人の手作り感を感じられる
 - やりすぎない広場感、つくられすぎない広場感、押つけ感のない
 - ターゲットは絞りすぎるとよくない
 - 回遊性の向上、ポイントたまる、共通チケットとか

- (各エリア: 川の駅・東部河津緑地)
- 食と音楽のエリア
 - キッチンカー、家族連れ、川沿いに遊ばす
 - 川でイベント、地下でア

B班 (メンバー: 熊澤さん、川述さん、金井さん、漢口さん)

- <コンセプト>
- ここ10年で広島駅や駅周辺の街はハード整備がかなり進んでいる。そういった人工的な変化とは別に、日々、季節ごとに変化するものを取り入れる。⇒『**全体が変化する、季節感を感じる駅『変わる広島駅**』
 - 変化していく花や緑、食べ物、アート、等々。例: 来た人が花を挿す。
 - 自由にできる空間はぜひ、広島駅という一等地をあえて『**芝生を敷くだけ**』というような空間にすることで、人が移動するだけではなく、自然と溜まり集まる仕組み。
 - 瀬戸内の気候や季節感を感じるといった事は、『**変わる広島駅**』のコンセプトにも合う。
- <活用方策>
- 広島市は本来川の街で、広島駅には川の駅もあるのに親水性がない。水に近づいて触れようなくみがあれば、川の駅は『**水のエリア**』『**川のエリア**』
 - ペDESTリアンデッキが出来ることで、地下には目を持つ。地下広場が美術館になったら面白い。アートで変化して
 - JR 広島新駅ビルの屋上は空に近い空間。広さを生かしたアクガなど。音楽イベントをすれば音が漏れ広がっていく。撮り部

〇色々な意見が出ました!

- (各エリア: 地下広場)
- 街の構造が変化していく (人工的な変化) のとは別に、季節で変わる要素が街にほしい。
 - JRビルの花、緑
 - 食べ物、時期で違うものが出てくる
 - 花や緑に囲まれる人はいいばかり。憩いの精神、公共空間だからこそそういうものがいい。
 - 瀬戸内の気候、風土、季節感の魅力、季節感のあるものがあると、人はわざわざやってくる。
 - 広島市のモデル、玄関、顔

- (各エリア: 川の駅・東部河津緑地)
- アートディープ、季節、色々な花を挿すもアート (往來参加)
 - 音楽が流れる一平和なまち
 - 地下広場一公園のような使い方
 - 地下らしさ一全天候型
 - 地下らしさ一ディープな感じ
 - 全体の空に1箇所くらいあってもいい
 - 何も無いけど落ち着く場所をみんな求めている。
 - 自由にできる空間一ぜひ(使い方を限定しない)

- (活用方策: 南口地下広場)
- ペDESTリアンデッキが出来ることでの人の流れが変わる。
 - 2階がきこ通廊として使われ、地下にはわざわざ降りて行かないような感じがほしい。空間的な使い方をされるようになる。
 - 公園、美術館みたいな利用のしかた (チャンク空間みたいな)
 - 空間的な特徴 (全天候型) を生かした利用。

- (活用方策: 広島新駅ビル)
- 空に近い
 - 降り足スポート
 - 音楽イベント
 - パブリックビューイング
 - ヨガ
 - 広さを生かすアクティビティ

- (活用方策: 川の駅)
- 川の駅なのに親水性がない、水に触れられるくらい近づきたい。

C班 (メンバー: 本多さん、野澤さん、前田さん、大西さん)

- 〇全体コンセプト: 『**みんながいきいき3時間一おてもなしホスピタリティのある空間**』
- 滞在時間が短い (1時間くらい)、用事がなく、通過点とされていた広島駅南口エリア内で普段使っても、3時間滞在できるような魅力・おてもなしを用意し、さらに消費活動をしてもらいたいというイメージ。
- 〇活用方策: 利用者『**ビジネスマン、ファミリー、主夫、シニア、ヤング**』×活動想定時間帯に着目
- 「ビジネスマン」: ストレスフリー、ニューノーマルに対応した働き方として、隠れ家となるようなワークスペースでの作業、仕事終わりにはお酒を楽しむ場所の提供。
 - 「主夫 (子連れ)」: 送迎後の活動を想定し、朝ヨガ、ママ友等との買い物を楽しんでほしい。
 - 「ファミリー」: 子連れでのお出かけは大変なことから、子供と親を分けることで、それぞれがのびのびと楽しむ。また、子供は預かり施設で子供向けのガイド、シニアによるマッチングサービスによって楽しんでもらう。
 - 「シニア」: ラジオ体操ではなく駅南体操をきっかけとした、モーニングを提供する。ついでに野菜や惣菜など買い物してもらおう。また、比較的時間に余裕がある人が多いので、子供に対してスキルシェア、来訪者に対するもてなし案内等をする。
 - 「ヤング (学生)」: 3on3やBMXやスケートボードなどアーバンスポーツができるような場所 (音漏れの少ない地下広場が最適では)、勉強や本を読む場所としてカフェ等を提供する。
 - 広島駅に触れコンシェルジュを配置し、利用者にあった3時間の使い方を提案してもらおう。

〇色々な意見が出ました!

- (各エリア: 地下広場)
- みんながいきいき3時間一おてもなしホスピタリティのある空間
 - 3時間くらい滞在・消費活動して欲しい
 - 3時間を提案するような触れコンシェルジュを配置
 - 利用者×時間帯から活用方策を考えた
 - 消費してもらいたい金額 平日 3,000~20,000円 土日祝 10,000~30,000円

- ファミリー
- 土日の日中
 - 子供向けの観光案内・保育費 5000円/3h間
 - キッズメニューだらけのショップ
 - 観覧車・メリーゴーランドなどの王道のエンタメ
 - 主夫 (子連れ)
 - 子供の送迎後一お迎え (15時くらい)
 - ママ友等との買物や、お迎え後のついで買い
 - 主夫層に刺さるようなおしゃべりものがない
 - 朝ヨガ
 - 翌日朝ごはんとしてパンを買う

- シニア
- 平日朝~夕方
 - ラジオ (駅南) 体操一モーニング
 - 産れるような場所
 - 公共手帳ができる場所
 - 惣菜や野菜の販売
 - ファミリーや主夫に向けた、キッズラインのようなマッチングサービス提供
 - ヤング (学生)
 - 平日夕方 (放課後、部活動後)
 - 書店等動かない店舗とソフトを上平く組み合わせたい
 - スケボーやBMXなどアーバンスポーツ (駅ビル屋上、地下広場)
 - 音楽が楽しめる場所、コンサート
 - cafe、活字

(ワークショップの様子)



図4.3.2 第2回ワークショップ (まとめ、開催状況)

(3) 第3回ワークショップ

A班 (メンバー: 後藤さん、中木さん、松原さん、水田さん)

全体コンセプトとして『えっと もっと 好きになる広島—五感でつながる ekimae—』

【広島駅南口地下広場】は、広島県廿日市市にある「TOTO 宮島おもてなしトイレ」(廿日市市とTOTO株式会社が官民協働で整備)のような、『トイレでおもてなし』に着目し、トイレを中心とした情報発信やアートを取り込むなどの上イレストリートが良い。必要な設備はトイレに関する設備(授乳室やベビーラウンジ含む)など。社会実験としては、トイレ紙のニーズ調査が考えられる。維持管理は、トイレでの広告収入を維持管理費に充てることができる。全天候型の強みを活かして、トイレを利用することで地下広場を通ってもらうようにする。イベントを常に回すことは大変で、費用と時間もかかるため、イベントがなくても利用してもらえるものとしてトイレの種類がた。

【広島東郵便局跡地】は、『30分/ワンコインで過ごせる』ような場所が良い。昼は昼食、夜は立ち飲みで時間をかけて気軽に利用できる。必要な設備はキッチンカー、椅子、テーブルなど。

【JR広島新駅ビル】は、『書空のもとでスポーツ関連』のことができるような場所が良い。屋上広場のスペースを活用して、スポーツ選手などのイベントやトークショーを行い集客する。あわせて、イベントの合間に他の拠点を周遊できるように情報を発信すると良い。イベントなどは通年で実施するのは難しいので、設備が必要ないヨが教室などを開催するのでもいいと思う。

【川の駅】は、『書空、川の近くでにぎわう』ような場所が良い。マルシェ(朝市など)の開催や日常的な憩いの場を提供する。必要な設備はキッチンカー、椅子、テーブルなど。社会実験としては、今まで実施された内容(2021年10月開催の「RIVER『みんなの』MARKET」など)が考えられる。

【東部河岸緑地】は、『何もなくてのんびりと過ごせる』ような場所が良い。図書館で借りてきた本を読む、コワーキングスペースを設けるなど、豊かに過ごせる場所を提供する。必要な設備は、芝生(自転車交通との分離)、椅子、テーブルなど。社会実験としては、ポストコモン等を置いてくつろぎスペースと自転車交通とを分離するなどが考えられる。

色々な意見が出ました!

【広島駅南口地下広場】
 <コンセプト・活用方法>
 ・トイレでおもてなしする「トイレストリート」や「トイレ設備特設ゾーン」の設置。
 ・全天候型の強みを活かして、玄関口として地元の人や訪客も気持ちよく利用してもらえ、生理中に付きつる困窮する女性やアーティストが利用できるトイレなど、多岐にわたる利用に活用できるように。
 ・イベントを企画し集客の促進、書空でいかにできるように、高速道路のサービスエリアにあるようにトイレの近くに案内板を置いて情報提供とか。
 ・広敷地でトイレの維持管理費をまかなえる。
 <必要な設備や課題>
 ・トイレに関する設備、授乳室。

【広島東郵便局跡地】
 <コンセプト・活用方法>
 ・昼は昼食、テイクアウト、夜は立ち飲み、時間をかけて30分/ワンコインで過ごせる。
 ・周辺に憩いがある学生が多い、ゲン担ぎのものがあれば。
 <必要な設備や課題>
 ・キッチンカー、椅子、テーブル。

【川の駅】
 <コンセプト・活用方法>
 ・書空、川の近くでマルシェ、イベントを開催する。
 ・必要な設備を揃えて賑わいを創出する。
 <必要な設備や課題>
 ・キッチンカー、椅子、テーブル。



B班 (メンバー: 熊澤さん、川添さん、金井さん、深口さん、麓さん)

<コンセプト・活用方法・必要な設備や課題について>

・エールメールA館への移転が予定されている中央図書館も関連させて、コンセプト等について考えていく。

・地下、地上、屋上と複雑なエリアのため、初めて来た方でも迷わないように、サイン等による情報提供を考慮する必要がある。

・観光客だけでなく、県民も使えるような場所になるようにしたい。

・ペDESTリアンデッキが出来ることによって、地下広場には目的がある人しか来なくなってしまう。⇒地下に行く目的作り。図書館、アート、花、足湯等々。

・河岸緑地、川の駅は使いにくい。⇒水の空間として改修したい。

・各エリア間の移動もサービスに。⇒セグウェイ等で、移動もサービスの一部に。

・誰が管理運営するか? 儲けながら持続的な運営。⇒民間による運営

色々な意見が出ました!

【JR広島新駅ビル】
 <コンセプト・活用方法>
 ・観光客ばかりでなく、県民が集まる空間になるように。
 ・図書館の本を広場や喫茶店等で読める。
 ・図書館から地下広場への導線なし。
 ・温泉の体験スペースのようなイメージ(漫画(本)、たまたみ)
 ・アートの中で本を読む(テーブル)
 ・タリーズの席を広場に出す
 ・〇〇を支える大きな柱がたくさん
 一柱を活用する。
 ・アート 森、自然、緑、花(花壇) 芝生
 ・ストリートピアノ
 ・お店(マルシェ、カフェ、etc)
 ・足湯
 ・自然光を取り込む天窓があったらいい。

【東部河岸緑地】
 <コンセプト・活用方法>
 ・水が流れる、常時ライブ
 ・水とふれあえる
 ・足湯
 ・自然光を取り込む天窓があったらいい。

【川の駅】
 <コンセプト・活用方法>
 ・水が流れる、常時ライブ
 ・水とふれあえる
 ・足湯
 ・自然光を取り込む天窓があったらいい。

C班 (メンバー: 本多さん、野澤さん、前田さん、大西さん)

<各エリアのコンセプト>

・特徴や今後の整備内容を踏まえて、テンション(緊張感の度合い)に応じて 郵便ビル/エキニシ、JR広島新駅ビル、川の駅・東部河岸緑地/南口地下広場3つのエリアに分けた。

■エリア毎のコンセプト

- 郵便ビル/エキニシ: 「変化・多面性のある場」
- JR広島新駅ビル: 「異文化交流の場」
- 川の駅・東部河岸緑地/南口地下広場: 「くつろぎスペース」

<課題/社会実験等>

- アーバンスポーツ設備の安全性、騒音などの検証が必要。
- 各エリアの周遊促進のために、他エリアの情報提供をする。
- デジタルサイネージのような直球な広報は好まれない(見てもらえない)ので、アプリやアート、SNS、AI等を活用した広報をする。
- 企業とのタイアップ…企業提供品(例ドリンクバーやソファ等)を、公的空間に設置し、使ってもらってPRになる。

色々な意見が出ました!

【川の駅/南口地下広場】 緊張感: ☆☆☆
 <コンセプト・活用方法>
 ・リラクセスできる場
 ・水辺・地下広場を活かした癒しや体験の提供
 ・産物だけでなく、産物があるようなくつろぎ空間
 ・広さを活かした大画面でのデジタルトリップ

【JR広島新駅ビル】 緊張感: ☆☆☆
 <コンセプト・活用方法>
 ・「異文化・多面性のある場」
 ・「異文化交流の場」
 ・交通結節点で多く人が行き交う
 ・交流することでイノベーションが起こりビジネスにつながる
 ex) 子供×大人、アート×スポーツ、ママ友同士

【郵便ビル/エキニシ】 緊張感: ☆☆☆
 <コンセプト・活用方法>
 ・「変化・多面性のある場」
 ・映像機器(パブリックビューイング等)
 ・Wi-Fi
 ・Googleのような快適な空間
 ・アーバンスポーツ設備(バルクール、ボルダリング、スケートボード等)
 ・スポーツ設備—安全性、騒音問題
 ・屋上広場まで距離がある一階建てが必要

【社会実験】 新しい利用者層へのアプローチ、ファミリーや学生限定の日やメニューなどを設ける。
 【屋上広場】 イノベーションが起こるような仕組み、屋上への誘導としてフリードリンクバーの設置
 【南口地下広場】 スポーツ設備の騒音や安全性の事前検証
 【地下広場】 くつろぎグッズや人工芝を敷き、滞在時間の変化を見る
 【エリア全体】 ソーン間のつながりを見る取り組みとして、アート等を活用した広報による周遊促進

図4.3.3 第3回ワークショップ(まとめ、開催状況)

(4) 第4回ワークショップ(開催状況)

第1~3回ワークショップに議論した内容を基に意見交換を行った。

第4回WS開催の様子

広島駅南口エリアのコンセプト

第4回WSで更新

■コンセプト
 広さを活かすアクティビティができる場所

■活用方法
 空が近いという特徴を活かし、音楽イベント、ヨガ、アーバンスポーツ、ドッグラン(ペットと一緒に入れる所)、パブリックビューイング等、広さを活かしたアクティビティができる場所、のんびり過ごすこともできる場所にする。鉄道・路面電車が通るので撮り鉄スポットとしてもアピールする。
 ※コロナ前、広島駅には外国人観光客がたくさんいた。1,2時間ぐらいい時間を潰せるところがあるかとよく聞かれたが、そういう場所はあまりない。また、夜に気軽に入らせて夜景を見る場所もない。

■必要な設備等

- ・作り込みはあまりしない。
- ・日よけ
- ・広い空間を賢く使えるように)
- ・ベンチ類
- ・芝生のスペース
- ・アーバンスポーツ設備

図4.3.4 第4回ワークショップ(開催状況)A班

第4回WSの開催の様子

JR広島新駅ビル 屋上

■コンセプト
 広さを活かすアクティビティができる場所

■活用方法
 空が近いという特徴を活かし、音楽イベント、ヨガ、アーバンスポーツ、ドッグラン(ペットと一緒に入れる所)、パブリックビューイング等、広さを活かしたアクティビティができる場所、のんびり過ごすこともできる場所にする。鉄道・路面電車が通るので撮り鉄スポットとしてもアピールする。
 ※コロナ前、広島駅には外国人観光客がたくさんいた。1,2時間ぐらいい時間を潰せるところがあるかとよく聞かれたが、そういう場所はあまりない。また、夜に気軽に入らせて夜景を見る場所もない。

■必要な設備等

- ・作り込みはあまりしない。
- ・日よけ
- ・広い空間を賢く使えるように)
- ・ベンチ類
- ・芝生のスペース
- ・アーバンスポーツ設備

図4.3.5 第4回ワークショップ(開催状況)B班

第4回WSの開催の様子

広島東郵便局跡地・エキニシ

■コンセプト
 「変化・多面性のある場」

■利用者イメージ
 ビジネスパーソン、学生、ファミリー

■活用方法
 オフィス、塾、図書館、呑み屋が立地していることから、昼夜、平休によって雰囲気が変わる。
 エキニシでは、敷居の高いとされていた、学生やファミリーに向けたランチ営業等に力を入れる。広島東郵便局跡地の屋内ではトレンド性の高い商品の展示を行い。スタンドテーブルを設けることで気軽に立ち寄れるようにすることで、活気のある場所にする。

■必要な設備等

- ・キッチンカー
- ・立ち飲みバー
- ・本
- ・スタンドテーブル
- ・展示用の什器
- ・絵や文字が書けるもの(透明のホワイトボード、電子黒板のようなもの)
- ・仕事や勉強ができるようなカフェ
- ・トイレ、ゴミ箱
- ・映像音響設備
- ・Wi-Fi
- ・椅子やテーブル
- ・倉庫、電源、給排水設備

図4.3.6 第4回ワークショップ(開催状況)C班

第5章 公共空間等の活用方策の取りまとめ

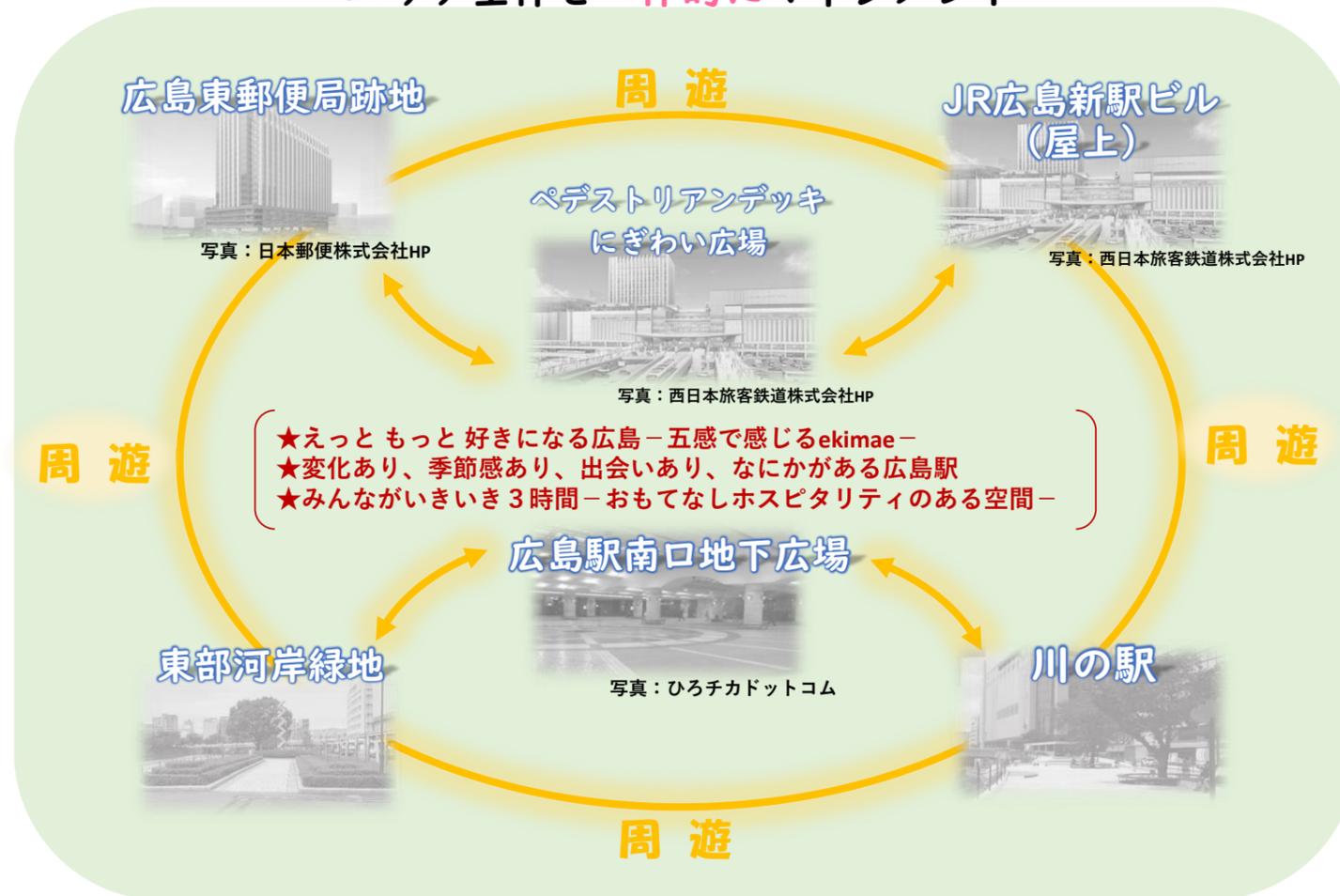
5.1 取りまとめ

ワークショップA～C班の結果に基づき、活用方策（案）を取りまとめた結果を示す。

■エリア全体

	A班	B班	C班
コンセプト	えっともっと好きになる広島 －五感で感じるekimae－	変化あり、季節感あり、出会いあり、なにかがある広島駅	みんながいきいき3時間 －おもてなしホスピタリティのある空間－
エリア全体の活用方策 注：着色は各班の活用方策を強調	・イベント等がある 目的地となる場所 ・普段の生活の中で サードプレイス（第3の場所）になれる場所 ・世代を問わず、 どんな人にも利用してもらえる場所 ・カーブ・お好み焼き・平和以外にも 広島の良いさを五感を通して再発見できる場所	・街の構造が変化（人工的な変化）していくのとは別に、 季節で変わる要素が街にほしい。 ・広島駅は、広島市の玄関であり、顔である。 観光客だけでなく、市民、県民も使えるような場所 になるようにしたい。 ・地下、地上、屋上、川沿いといった多様な空間で構成されるエリアを一体的に捉え、 初めて訪れた人でも楽しめるように、エリア内を便利に、楽しく移動できる環境 をつくる。	・普段使いでも、 3時間滞在できるような魅力・おもてなしを提供 する。 ・さらに消費活動を行ってもらう。
一体的活用、連携のためのしかけ	－	・エリア全体を一体的かつ持続的にマネジメントするのがよいと考えられる。 ・移転予定の中央図書館とも連携する。	・AIやアート等を活用した広報による周遊促進 ・駅マチウォークのアプリ（南口開発）との連携 ・エリア間の周遊を高めるためには、オクトーパフェスト等、同パッケージのイベントを複数会場で行う方法もある ・コンシェルジュの配置
社会実験手法	・北口で社会実験：ペDESTリアンデッキとかエキキターレ、広場等を活用することで必要性を検証する ・南口エリアの整備や社会実験に伴い、規制の緩和（市所有のところでも使えるようにする等）も実施したら検討の幅が広がる	・セグウェイやC'walkを使った移動。移動も楽しむ。 ⇒C'walkならトヨタ自動車にスポンサーになってもらえるか ・アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX、バルクール）	

エリア全体を一体的にマネジメント



～短期の社会実験手法（年別）～

※各エリアの社会実験を年別に横並びに表記

<考え方>

- ◎基本事項：Webアンケートでも要望が高い、人が滞留できる「カフェ」＋「椅子・テーブル」＋「Wi-Fi」の実施。
- ◎1年目（令和4年度）：【広島東郵便局跡地】は整備直後のため、上記事項を実施、【広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地】は上記の他、賑わいを醸し出す施策を追加し、財源確保の検討を含めて実施。
- ◎2年目（令和5年度）：エリア毎の将来的な活用方策を視野に入れた施策の展開を検討。【広島東郵便局跡地】では財源確保の検討を含めて実施。
- ◎3年目（令和6年度）：JR広島新駅ビルの活用方策およびエリア毎の連携を考慮した社会実験を検討。

<具体内容>

■1年目：令和4年度

- 【広島東郵便局跡地】
「カフェ」＋「椅子・テーブル」＋「Wi-Fi」
- 【広島駅南口地下広場】⇒財源確保を視野に入れた社会実験含む
「カフェ・コンビニ」＋「椅子・テーブル」＋「Wi-Fi」＋「くつろぎ空間の創出（ビーズクッション、ハンモック）」
- 【川の駅・東部河岸緑地】⇒財源確保を視野に入れた社会実験含む
賑わいを創出する「カフェ・フードデリバリー受取場所」＋「椅子・テーブル」＋「Wi-Fi」＋「ドッグラン」＋ふれあい実験

■2年目：令和5年度

- 【広島東郵便局跡地】⇒財源確保を視野に入れた社会実験含む
仕事や勉強ができるようなカフェ（例：ワンコインで●分過ぎず）
- 【広島駅南口地下広場】
1年目の施策は継続＋「気軽に入れるコワーキングスペース」＋「広告に見えないアートみたいな広告」
- 【川の駅・東部河岸緑地】
図書館移転を考慮し移動図書館・古本市開催＋図書館の本の展示とともに「水辺の空間」の創出

■3年目：令和6年度

- 【広島東郵便局跡地】
イベントやトークショー、表現の自由の場の提供。
- 【広島駅南口地下広場】
アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX等）の検証
- 【川の駅・東部河岸緑地】
アーバンスポーツ（スケートボードやスライダー等）の検証
- ゾーン間の連携を考慮した社会実験について
・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。
・アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX、バルクール）
・駅マチウォークのアプリ（南口開発）との連携
・セグウェイ等を使った移動

■広島駅南口地下広場

コンセプト	A班 「トイレでおもてなし」	B班 「「ディープ」な地下広場」	C班 「くつろぎスペース」
活用方策 注：着色は各班の活用方策を強調	・トイレを中心とした情報発信やアートを取り込むなどの「 トイレストリート 」にする。全天候型の強みを活かし、トイレを利用することで地下広場を通してもらう。地下だからこそ清潔・こだわりのあるトイレに。	・植物やアートで、季節とともに変化する ディープな地下空間 。マルシェやカフェ、図書館の本を読むスペース、足湯等で、「行く目的のある」 地下広場 。 ・また、観光客だけでなく市民、県民にとっても楽しめる空間にする。	・川の駅沿いでのBBQや地下広場でのグランピング等、水辺や地下広場を活かした、癒し・体験ができる。 ・ビーズクッションや芝生を設置し、 座るだけではなく、寝転がれるような場所 にする。 ・さらに、 フードデリバリーの受取り拠点 、キッチンカー等を近くに配置することで、 サードプレイスとして、心ゆくまで寛げる 。
必要な設備等	・ トイレ に関する設備（授乳室やベビーラウンジ）	・天窗、 冷暖房 、 デジタルサイネージ 、 倉庫 、 トイレ	・ ビーズクッション 、 ハンモック ・ 人工芝 、 グランピング設備 ・ カフェ・キッチンカー ・ ジュークボックス ・ テレワーク設備
社会実験手法	・トイレのニーズ調査 ・ガチャガチャ（トイレトペーパー等） ・ニーズ調査（何があれば地下を通りたいと思うか）	・足湯+α、 アート 、パー、ストリートピアノ、車の 展示会 ・（来年やるとしたら） アート関連 、 コンビニ 、ふれあい実験、 企業が自分の商品を試す実験場	・ くつろぎグッズ （ビーズクッション、ハンモック）や 人工芝 の設置による、滞在時間の変化 ・ アーバンスポーツ や ストライダー などが楽しめる場所 ・滞在時間延長のために フードデリバリー の受け取り拠点
↓			
活用方策(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【共通して「具体化（実践）したい」こと】 ・全天候型の強みを活かした サードプレイスとして、心ゆくまで寛げる （座るだけでなく寝転がれる）場所の提供、「行く目的のある」地下広場。 【共通以外に着目すべきこと】 ・清潔・こだわりの トイレストリート ・植物やアートで、季節とともに変化する ディープな地下空間 。 ・展示会の開催場所		
必要な設備等(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【各エリアに共通して最低限必要な設備】 ・清潔・こだわりの トイレ 、ゴミ箱、映像音響設備（パブリックビューイング、 デジタルサイネージ ）、Wi-Fi、椅子やテーブル、 倉庫 、電源、給排水設備、 冷暖房 、充電スポット 【活用幅を広げるために整備されたら良い設備】 ・マルシェ・ カフェ・キッチンカー 、 芝生 、 フードデリバリーの受取り拠点 、 テレワーク設備 、くつろぎグッズ（ ビーズクッション 、 ハンモック 、 グランピング設備 ）		
社会実験手法(案) ※着色はWS意見および必要な設備等が反映された事項	【短期※1】1～3年 ※2年目以降はリニューアル工事および橋りょう工事との関係に留意する必要がある。	○考え方 ：Webアンケートでも現状に対して求められている「椅子・テーブル」「Wi-Fi」「カフェ」の設置による賑わいの創出を基本とする。 ：1年目（令和4年度）は、上記にエリア毎に異なる活用方策を加え、財源確保も視野に入れたものとする。 ：2年目（令和5年度）は、エリア毎の活用方策を視野に入れた施策の展開を検討する。 ：3年目（令和6年度）は、JR広島新駅ビルの活用方策およびエリア毎の連携を考慮した社会実験を検討する。 ○社会実験の具体内容 ：1年目－ カフェ・コンビニ （※駅から離れるとコンビニが少ない）+「 椅子・テーブル 」+「 Wi-Fi 」+ くつろぎ空間の創出 （ ビーズクッション 、 ハンモック ※ 展示会開催場所の提供 ） ※企業タイアップ、広告収入および利用者への場所の提供による財源確保に向けた検討を含む ：2年目－ 1年目の施策は継続 + 気軽に入れるコワーキングスペース － 広告に見えないアートみたいな広告 ：3年目－ アーバンスポーツ （バスケ3on3、BMX等）※3の検証【騒音、利用動向、レンタル】 ※施設利用料、レンタル利用料による財源確保に向けた検討を含む	
	【中長期※2】4年目以降	○考え方 ：本格運用を視野に入れた施策を基本とする。 ○社会実験の具体内容 ※「椅子・テーブル」「Wi-Fi」は常設 ：「 カフェ 」+「 人工芝 」、 映像音響設備 （ パブリックビューイング 、 デジタルサイネージ ） ： 上記+くつろぎ空間の創出 （ ビーズクッション 、 ハンモック ※ 展示会開催場所の提供 ）	
	【ゾーン間の連携を考慮した社会実験について】	・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。 ・アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX、パルクール） ・駅マチウォークのアプリ（南口開発）との連携 ・セグウェイ等を使った移動。	

※1 短期：「広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地」および「郵政ビル跡地」における実験－1～3年程度想定

※2 中長期：JR新駅ビルが完成する時期－4年以降想定

※3 JR広島新駅ビルでの活用方策検討のための社会実験に該当

■川の駅・東部河岸緑地

コンセプト	A班 川の駅「青空、川の近くでにぎわう」 東部河岸緑地「何もなく、のんびりと過ごせる」	B班 川の駅・東部河岸緑地「水辺の空間」	C班 「くつろぎスペース」
活用方策 注：着色は各班の活用方策を強調	○川の駅 ・マルシェ（朝市）の開催や日常的な憩いの場を提供。 ○東部河岸緑地 ・図書館で借りてきた本を読む、コワーキングスペースを設けるなど、 静かに過ごせる場所を提供 する。	・水辺の空間として改修し、 水とふれあえるイベントを実施 する。 ・また、 ドッグラン、屋外バー 、水飲み場（人&動物）、 キッチンカー、マルシェ、音楽イベント 、足湯等々。 ・夜は暗いため、常時ライトアップし、 明るく近づきやすい空間 にする。	・川の駅沿いでのBBQや地下広場でのグランピング等、水辺や地下広場を活かした、 癒し・体験 ができる。 ・ビーズクッションや芝生を設置し、座るだけでなく、寝転がれるような場所にする。 ・さらに、 フードデリバリーの受取り拠点、キッチンカー 等を近くに配置することで、サードプレイスとして、心ゆくまで寛げる。
必要な設備等	○川の駅 ・ キッチンカー、椅子、テーブル ○東部河岸緑地 ・ 芝生 （自転車交通との分離）、 椅子、テーブル	・ トイレ、倉庫、排水、ゴミ箱、照明設備	・ ビーズクッション、ハンモック ・ 人工芝、グランピング設備、BBQ設備 ・ カフェ・キッチンカー ・ ジュークボックス、テレワーク設備
社会実験手法	○川の駅 ・今まで実施された内容（RIVER『みんなのMARKET』など） ○東部河岸緑地 ・ポストコーン等を置いて くつろぎスペース （椅子やテーブルを配置）と自転車交通とを分離	・屋外バー、アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX、パルクール） ・（来年やるとしたら）アート関連、コンビニ、 ふれあい実験、企業が自分の商品を試す実験場	・くつろぎグッズや人工芝の設置による、滞在時間の変化 ・ アーバンスポーツやスライダー などが楽しめる場所 ・滞在時間延長のためにフードデリバリーの受け取り拠点 ・セーヌ川のような 古本市開催+図書館の本の展示+飲食
↓			
活用方策(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【共通して「具体化（実践）したい」こと】 ・図書館の本が読めるコワーキングスペース、 マルシェ（朝市）の開催や日常的な憩いの場を提供 。夜も 明るく近づきやすい空間 とする。 【共通以外に着目すべきこと】 ・ 水とふれあえるイベントを実施、フードデリバリーの受取り拠点、BBQやグランピングによる癒し体験、音楽イベント		
必要な設備等(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【各エリアに共通して最低限必要な設備】 ・ トイレ、ゴミ箱 、映像音響設備（パブリックビューイング、デジタルサイネージ）、Wi-Fi、 椅子やテーブル、倉庫 、電源、 給排水設備 、充電スポット 【活用幅を広げるために整備されたら良い設備】 ・ マルシェ・カフェ・キッチンカー・屋外バー、芝生、フードデリバリーの受取り拠点、くつろぎグッズ（ビーズクッション、ハンモック、グランピング設備）、ドッグラン、日除け		
社会実験手法(案) ※着色はWS意見および必要な設備等が反映された事項	【短期※1】1～3年	○考え方 ：Webアンケートでも現状に対して求められている「椅子・テーブル」「Wi-Fi」「カフェ」の設置による賑わいの創出を基本とする。 ：「カフェ」については、東部河岸緑地のR6年度からの運用の社会実験として位置づけられる。 ：1年目（令和4年度）は、上記にエリア毎に異なる活用方策を加え、財源確保も視野に入れたものとする。 ：2年目（令和5年度）、エリア毎の活用方策を視野に入れた施策の展開を検討する。 ：3年目（令和6年度）は、JR広島新駅ビルの活用方策およびエリア毎の連携を考慮した社会実験を検討する。 ○社会実験の具体内容 ：1年目－賑わいを創出する「 カフェ・フードデリバリー受取場所 」+「 椅子・テーブル 」+「 Wi-Fi 」+「 ドッグラン 」 － ふれあい実験 （知らない人と話せる場：「ここでコーヒーを飲んでいる人には話しかけてもよい・話しかけられても嫌な顔しない」というルールのあるスペース） ※ ドリンクの提供および利用者への場所の提供に伴う財源確保に向けた検討を含む ：2年目－ 図書館移転を考慮し移動図書館・古本市開催+図書館の本の展示 とともに、「水辺の空間」における くつろぎ空間の創出 。 ：3年目－ アーバンスポーツ（スケートボードやスライダー等） の検証【騒音、利用動向、レンタル】 ※施設利用料、レンタル利用料による財源確保に向けた検討を含む	
	【中長期※2】4年目以降	○考え方 ：本格運用を視野に入れた施策を基本とする。 ○社会実験の具体内容 ※「椅子・テーブル」「Wi-Fi」は常設 ： 水とふれあえるイベントの実施、屋外バー、常時ライトアップ、賑わいを創出する「フードデリバリー受取場所」 ： アーバンスポーツ（スケートボードやスライダー等）、映像音響設備（パブリックビューイング、デジタルサイネージ）	
	【ゾーン間の連携を考慮した社会実験について】	・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。 ・アーバンスポーツ（バスケ3on3、BMX、パルクール） ・駅マチウォークのアプリ（南口開発）との連携 ・セグウェイ等を使った移動。	

※1 短期：「広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地」および「郵政ビル跡地」における実験－1～3年程度想定

※2 中長期：JR新駅ビルが完成する時期－4年以降想定

■JR広島新駅ビル（屋上広場）

コンセプト	A班：「青空のもとでスポーツ関連」	B班：「広さを活かすアクティビティができる場所」	C班：「異文化交流の場」
活用方策 <small>注：着色は各班の活用方策を強調</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上広場のステージを活用して、スポーツ選手などのイベントやトークショーを提供する。 ・イベント以外では、設備が必要ないヨガ教室などの会場として提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空に近いという特徴を活かし、音楽イベント、ヨガ、アーバンスポーツ、ドッグラン(ペットと一緒に入れる所)、パブリックビューイング等、広さを活かしたアクティビティができる場所、のんびり過ごすこともできる場所にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開放的で自由度の高い屋上空間では、壁面を活かしたボルダリングや、ヨガ、アートイベント等、様々な人が集まるような仕掛けをすることで、普段は接点のない層が交流し、イノベーションが起こるきっかけとなるような場所にする。
必要な設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・整備予定の屋上広場のステージを活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・作り込みはあまりしない。 (広い空間を贅沢に使えるように) ・芝生のスペース ・日よけ ・ベンチ類 ・アーバンスポーツ設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google社のような快適な空間 ・スポーツ設備 (パルクール、ボルダリング、スケートボード等) ・コンシェルジュ
社会実験手法	<ul style="list-style-type: none"> ・広島駅の象徴としてどのようなものがあると良いか意見を募集する 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・アーバンスポーツやストライダーなどが楽しめる場所 ・イノベーションが起こるような仕組み、屋上空間への誘導としてフリードリンクバーの設置
			
活用方策(案) <small>※着色はWS意見が反映された事項</small>	【共通して「具体化（実践）したい」こと】 ・ステージを活用したスポーツ選手などのイベントやトークショー、アクティビティができる場所など様々な人が集まるような仕掛けをし、イノベーションが起こるきっかけとなるような場所とする。 【共通以外に着目すべきこと】 ・壁面を活かしたボルダリング設備、ヨガ・アートなどのイベント活用		
必要な設備等(案) <small>※着色はWS意見が反映された事項</small>	【各エリアに共通して最低限必要な設備】 ・トイレ、ゴミ箱、映像音響設備（パブリックビューイング、デジタルサイネージ）、Wi-Fi、椅子やテーブル、倉庫、電源、給排水設備、充電スポット 【活用幅を広げるために整備されたら良い設備】 ・（広い空間を贅沢に使えるように）作り込みはあまりしない。 ・芝生スペース、日除け、アーバンスポーツ設備、フリードリンクバー		
社会実験手法(案) <small>※着色はWS意見および必要な設備等が反映された事項</small>	【短期※1】 1～3年	<整備期間中>	
	【中長期※2】 4年目以降	○考え方 : 様々な人が集まるような場所とする。 : 本格運用を視野に入れた施策を基本とする。 ○社会実験の具体内容 : <u>ヨガ・アートなどのイベントやトークショー</u> : <u>アーバンスポーツ (バスケ3on3、BMX等)の本格導入に向けた検証【騒音、利用動向、レンタル】</u> : <u>映像音響設備 (パブリックビューイング、デジタルサイネージ)</u> : <u>フリードリンクバーの設置</u> ※まちづくり支援自販機設置による財源確保に向けた検討を含む	
	【ゾーン間の連携を考慮した社会実験について】	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。 ・アーバンスポーツ (バスケ3on3、BMX、パルクール) ・駅マチウォークのアプリ (南口開発) との連携 ・セグウェイ等を使った移動。 	

※1 短期：「広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地」および「郵政ビル跡地」における実験－ 1～3年程度想定

※2 中長期：JR新駅ビルが完成する時期－ 4年以降想定

■ペDESTリアンデッキ・賑わい空間

コンセプト	A班：「広島の玄関口」	B班：「エリア全体のシンボリックな場所」	C班：「人と人、街とまちをつなぐ場」
活用方策 <small>注：着色は各班の活用方策を強調</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島駅の玄関口として、①南口にあった噴水のように新たな象徴（噴水・折り鶴など）となるものを配置し、待ち合わせ場所として利用。②各拠点のイベント情報等をデジタルサイネージで発信。③カープの試合日に応援歌を流す。④川の駅のマルシェ等と連動してサテライトショップを配置。 ・駅前でも多くの人が往来するため、過度に滞留しすぎない配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりできる場所は他のエリアにあるので、ここはにぎやかな場所であっていい。また、待ち合わせスポットのシンボルになるものを配置。 ○ペDESTリアンデッキ ・キッチンカー、手すりのラッピング（広告PR→財源） ○賑わい空間 ・大道芸やストリートピアノ、路面電車が出入りすることから撮り鉄スポットなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペDESTリアンデッキ ・広島駅から各地方への繋がりと周遊の起点となり、これまでの移動から変化を与える場所。 ・また、乗り換え利便性が向上するため、周遊が少なくなることが懸念される。そこで、季節感や広島を感じれるもの（カープ等）装飾や出展、さらに、表現の自由の場（アートや弾き語りができる場所）とすることで通過するだけで楽しい場所となり周遊を促す。 ○賑わい空間 ・ペDESTリアンデッキとは異なり、ハブになる場所であるため、滞留機能や待ち合わせに特化させる必要がある。 ・情報収集や待ち合わせし易いようにシンボルツリーの設置、快適に滞在できるような設備の設置が挙げられる。 ・広島駅の玄関口であることから、AIやICTを駆使した技術的にインパクトのある情報提供をする。
必要な設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・象徴となるもの（噴水・折り鶴等） ・デジタルサイネージ ・アンプ、スピーカー ・電源 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルとなる木 ・大屋根の柱等の大きな構造物に、存在感を和らげる素材を活用 ・傘やフラワーポット等をぶら下げるための装置（アート関係） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペDESTリアンデッキ ・季節感のある装飾（七夕：笹、クリスマス：イルミネーション） ・広島を感じれるもの（屋台、装飾、アート等） ○賑わい空間 ・情報収集・観光案内機能（デジタルサイネージ、コンシェルジュ） ・ミスト・シンボルツリー（他、目印になりそうなもの）
社会実験手法	<ul style="list-style-type: none"> ・広島駅の象徴としてどのようなものがあるか良いか意見を募集する 	—	—
活用方策(案)	<ul style="list-style-type: none"> 【共通して「具体化（実践）したい」こと】 ・待ち合わせ場所・これまでの移動から変化を与える場所として、季節感や広島を感じれるもの（カープ等）装飾や出展・表現の自由の場を提供し、また、他のエリアと連動したサテライトショップを配置するなど通過するだけで楽しい場所とする。 【共通以外に着目すべきこと】 ・過度に滞留しすぎない配慮が必要。 ・AIやICTを駆使した技術的にインパクトのある情報提供（デジタルサイネージ等） 		
必要な設備等(案)	<ul style="list-style-type: none"> 【各エリアに共通して最低限必要な設備】 ・トイレ、ゴミ箱、映像音響設備（パブリックビューイング、デジタルサイネージ）、Wi-Fi、椅子やテーブル、倉庫、電源、給排水設備、充電スポット 【活用幅を広げるために整備されたら良い設備】 ・シンボルツリー、広島を感じれるものの装飾、他のエリアと連動したサテライトショップ、AIやICTを駆使した技術的にインパクトのある情報提供、コンシェルジュ 		
社会実験手法(案)	<ul style="list-style-type: none"> 【短期※1】 1～3年 	<整備期間中>	
<small>※着色はWS意見および必要な設備等が反映された事項</small>	<ul style="list-style-type: none"> 【中長期※2】 4年目以降 	<ul style="list-style-type: none"> ○考え方 ：待ち合わせ場所・これまでの移動から変化を与える場所とする。 ：広島駅の玄関口であることからインパクトのある活用方策を検討する。 ：本格運用を視野に入れた施策を基本とする。 ○社会実験の具体内容 ：広島を感じれるもの（カープ等）装飾・アート・弾き語り、他のエリアと連動したサテライトショップ・屋台 ：AIやICTを駆使した技術的にインパクトのある情報提供やコンシェルジュの配置 ：映像音響設備（パブリックビューイング、デジタルサイネージ）、ミスト・シンボルツリー 	
	<ul style="list-style-type: none"> 【ゾーン間の連携を考慮した社会実験について】 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。 ・アーバンスポーツ（バスケットボール3on3、BMX、パルクール） ・駅まちウォークのアプリ（南口開発）との連携 ・セグウェイ等を使った移動。 	

※1 短期：「広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地」および「郵政ビル跡地」における実験－ 1～3年程度想定

※2 中長期：JR新駅ビルが完成する時期－ 4年以降想定

■広島東郵便局跡地

コンセプト	A班：「30分/ワンコインで過ごせる」	B班：「自由に使える空間」	C班：「変化・多面性のある場」
活用方策 注：着色は各班の活用方策を強調	・ 昼は昼食利用、夜は立ち飲み等で時間をかけずに気軽に利用できる場所 を提供する。	・ビルの1階部分が一般の人でも利用できる店舗等であれば、1階店舗で買ったものを公開空地のベンチで食べるなど、 一体的に使える場所 にすることができる。 ・緑は高木をメインとし、低木や植栽を減らすことで、 使えるスペースを広く取りたい 。 ・小川を流して、橋を渡ったり、子供が水遊びをしたりという、 川の駅や河岸緑地とは違った水辺の空間 を作ることができる。	・オフィス、塾、図書館、呑み屋が立地していることから、 昼夜、平休によって雰囲気が変わる 。 ・エキニシでは、敷居の高いとされていた、学生やファミリーに向けたランチ営業等に力を入れる。 ・広島東郵便局跡地の屋内ではトレンド性の高い商品の展示を行い。スタンドテーブルを設けることで 気軽に立ち寄れるようにすることで、活気のある場所 にする。
必要な設備等	・キッチンカー ・ 椅子 ・ テーブル	・飲食・休憩用ベンチ ・(来年やるとしたら)アート関連、コンビニ、ふれあい実験、企業が自分の商品を試す実験場	・ キッチンカー、立ち飲みバー、スタンドテーブル ・本 ・展示用の什器 ・ 絵や文字が書けるもの(透明のホワイトボード、電子黒板のようなもの) ・ 仕事や勉強ができるようなカフェ
社会実験手法	—	—	—



活用方策(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【共通して「具体化(実践)したい」こと】 ・ 昼はランチ、夜は立ち飲み等で利用でき、気軽に立ち寄れるようにすることで、活気のある場所 とする。また、 ビル1Fと一体的に使える場所 とする。 【共通以外に着目すべきこと】 ・ 川の駅や河岸緑地とは違った水辺の空間 の創造。	
必要な設備等(案) ※着色はWS意見が反映された事項	【各エリアに共通して最低限必要な設備】 ・トイレ、ゴミ箱、映像音響設備(パブリックビューイング、デジタルサイネージ)、Wi-Fi、 椅子やテーブル 、倉庫、電源、給排水設備、充電スポット 【活用幅を広げるために整備されたら良い設備】 ・ キッチンカー、立ち飲みバー、スタンドテーブル、仕事や勉強ができるようなカフェ、絵や文字が書けるもの(透明のホワイトボード、電子黒板のようなもの)	
社会実験手法(案) ※着色はWS意見および必要な設備等が反映された事項	【短期※1】1～3年	○考え方 ：Webアンケートでも現状に対して求められている「椅子・テーブル」「Wi-Fi」「カフェ」の設置による賑わいの創出を基本とする。 ：1年目(令和4年度)は、上記にエリア毎に異なる活用方策を加えたものとする。 ：2年目(令和5年度)は、財源確保も視野に入れた施策の展開を検討する。 ：3年目(令和6年度)は、JR広島新駅ビルの活用方策およびエリア毎の連携を考慮した社会実験を検討する。 ○社会実験の具体内容 ：1年目— 「カフェ」+「椅子・テーブル」+「Wi-Fi」 ：2年目— 仕事や勉強ができるようなカフェ「例：ワンコインで●分過ごす施策」 ※ドリンク提供および利用者への場所の提供に伴う財源確保も視野に入れた社会実験 ：3年目— イベントやトークショー、表現の自由の場(アートや弾き語りができる場所)※3 などの提供。
	【中長期※2】4年目以降	○考え方 ：本格運用を視野に入れた施策を基本とする。 ○社会実験の具体内容 ： 昼はランチ、アフター5は立ち飲みバーなど、変化に対応できる実験の実施。 ： 映像音響設備(パブリックビューイング、デジタルサイネージ)
	【ゾーン間の連携を考慮した社会実験について】	・AIやアート等を活用した広報による周遊促進。コンシェルジュ配置。同パッケージのイベントを複数会場にて実施。 ・アーバンスポーツ(バスケ3on3、BMX、バルクール) ・駅マチウォークのアプリ(南口開発)との連携 ・セグウェイ等を使った移動。

※1 短期：「広島駅南口地下広場・川の駅・東部河岸緑地」および「郵政ビル跡地」における実験—1～3年程度想定

※2 中長期：JR新駅ビルが完成する時期—4年以降想定

※3 JR広島新駅ビルでの活用方策検討のための社会実験に該当

●管理運営の方法

- 自分事として主体的に取り組める運営主体・運営体制
 - まちづくり会社が各エリアを一体的に管理、運営する。
 - ▷行政や警察とのやりとりの際にワンストップの窓口となる。
 - ▷協議会では、マンパワーや財源に限界がある。
 - ▷本業が別にある状態で取り組むには難しい。
- 企業とのタイアップ
 - ・企業提供品を公的空間に設置し、実際に使ってもらう
 - ・目に留まる事でPRになる。(例ドリンクバーやソファ等)
 - ・広告、場所代、ネーミングライツ等の財源確保にも繋がる
- プラットフォームを作る
 - ・店を出したいという人はたくさんいる。キッチンカー、飲食店、農家等々、来てほしい「場所側」と活動したい「店側」をつなぐプラットフォームやマッチングのための使いやすいアプリなどがあるとやりやすい。

●財源確保の手法

- ・収益の一部還元
 - ⇒公益性を有するイベント等に付随する物販やサービスの提供の収益の一部(例：売上の10%)がまちづくり協力金等として実施団体に還元される仕組み
 - ※福岡市(福岡県福岡市天神明治通り地区)の事例あり
 - ⇒レンタル料(例 グランピングやBBQ、アーバンスポーツ等)
 - ⇒イベント参加料・入場料
- ・施設利用料(広場・公園等)
 - ⇒管理主体が、利用者から使用料を徴収して財源を確保していく
- ・トイレの有料化
 - ⇒有料化で清掃員の人件費等を確保していく
 - ※国内でも多数の事例あり
- ・広告収入(広告の他、販促品の展示なども含む)
 - ⇒トイレでの広告収入を維持管理費に充てる(現在トイレ清掃代は清掃会社に委託)
 - ⇒過年度社会実験の取組を継承(エリアマネジメント広告)
- ・まちづくり支援自販機 ※企業参入が必要
 - ⇒飲料売上の一部をさまざまな地域活動等に還元する
 - ※福岡県田川市等での事例あり
- ・ネーミングライツ
 - ⇒ネーミングライツ(命名権)によりクライアントを募り、財源を確保
 - ※横浜市等多数の事例あり

●その他

- 継続して実施していくために必要な手法
 - ・帰属意識を高める為にも、イベントは単発的に行わず、継続的に開催し、週末何かやってる場所というイメージを定着させることが重要である。
 - ・今までのやり方やプレイヤーの年齢層が変わらないため、現状が変化していない。若くて意欲に溢れた人に一度任せてほしい、商工会議所の青年部などもいいと思う。
 - ・管理方法を育てるための実証実験のようなものが必要だと思う。
- 南口駅前の動線確保
 - ・現状、駅から南側へ行くには郵政の前の交差点を渡るか、ビッグフロントの前の交差点を渡るしかない。駅前であって駅前ではないようなイメージを抱く。
 - ⇒動線の確保の観点から、社会実験として広島駅から南へ向かう交差点のスクランブル化を実施。話題作りにもなるし、実施した結果どうなのかを知っておきたい。